日本キリスト教団 東金教会〔２３〕

２０１８年６月１０日聖霊降臨節第４主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　　ヨハネ福音書１５章5節

【礼拝式次第】

司　　　式	足立
奏　　　楽	中村
受　　　付	澤本
案　　　内	安延
名　札　係	安延
礼拝感謝祈祷	藤田
〃　〃	藤本

前　　奏		中村
讃美歌	２０	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	２０	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖　　書	フィリピ書 3:１２-１６	司会者
祈　　祷		足立
新聖歌	３５５	一同
み言葉の伝え 「未完成の完成」		中村
讃美歌	２７４	一同
献　　金		
礼拝感謝		藤田
〃　〃		藤本
報　　告		足立
頌　　栄	５４１	一同
祝祷（派遣）		中村
後　　奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　６月１３日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
定期長老会　本日礼拝後
ＣＳ教師会　本日定期長老会後
聖書輪読会　６月17日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　６月17日(日)10:25-10:30

【報告】

☆５月分の献金報告ができております。週報棚よりお取り下さい。

☆本日は教会学校に於いて花の日礼拝を守りました。又、午後２時半よりは花を持ち、ＣＳ生徒と共に成東の「緑海会」をお訪ねします。ご一緒下さる方は是非どうぞ。

☆６月２４日は「千葉支区の日」です。この日は第二献金をお捧げし、支区内の困難を覚えている教会の御用に役立てます。宜しくお願い致します。

☆６月２５日(月)は伝道協議会です。今年は「教会が牧師を迎えること」がテーマです。掲示板に詳細があります。希望者は中村姉に申出下さい。

☆６月24日午後７時半より山田台集会がございます。参加して下さる方は７時に教会までおいで下さい。

☆7月1日は教会清掃日です。お覚え下さい。

☆７月１６日(月・海の日)午前１０時よりメーヤー館において「東総分区信徒の交わり」を開催します。今年は終末の魂のケアについて長らく終末ケアに携わった薬園台教会牧師原田　　師が講師です。昨年九十九里教会で講演され、好評を博したものです。是非ご参加下さい。詳しくは掲示板をご覧下さい。

【分区・支区・教区報告】

7/3 10：30　東総分区牧師会　於・長生教会

【６月10日～16日の誕生者】

○新行内　　姉　○土屋　ちゃん　○佐藤　　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(６/３)	１０	３６	４６
聖研祈祷会(6/6)	３	３	６
聖書輪読会(6/3)	２	２	４
教会学校(６/３)	９	１４	２３

早天祈祷会			
日	男	女	計
６／４	１	２	３
６／５	１	２	３
６／６	１	２	３
６／７	１	２	３
６／８	１	３	４

主日礼拝献金(６/３)……２９,１６２円
教会学校献金(６/３)……５,９９３円

【今日のメッセージ】

題　［未完成の完成］
聖　書　フィリピ書3:１２～１６

１・復活の命を求めて

２・前進

３・到達したところで

【次週(６月１７日)礼拝案内】

題　「…のに」ではない生き方
聖　書　アモス書7:１０～１５
交読文　２１
新聖歌　２０番　１３５番
讃美歌　５３８番

【次週(6月17日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…朴
司　式　者…井上
奏　楽　者…中村
受　付　者…今井
案　内　者…井上
名札当番…土屋
礼拝感謝祈祷…猪野
〃　〃…五木
ｃｓお話し…森川
会堂清掃者…武田
〃　〃…
花　　係…猪野
看板書き…土井

【聖書から】

とはいえ、肉にも頼ろうと思えば、わたしは頼れなくはない。
フィリピ書三章四節

肉にたよる！　わたしたちにはそう言うところがある。誰であれ己を卑下するような生き方をしたいとは思わない。自尊心があるのである。そして自尊心はときとして己の自慢として出て来ることがあるし、またこう言う自慢を崇める人が出てくることがある。此処での自慢はフィリピの異邦人でなくユダヤ人キリスト者であった。彼らは割礼を誇り、律法を誇り、律法に従って歩んでいることを誇ったのである。そしてさらに悪いことには彼らはそれこそが正しい信仰の道であり、イエス・キリストはこの道に異邦人を導き入れるために神から遣わされたメシアだと主張したのである。この主張はイエス・キリストによる罪の救いの信仰とは似て非なるものであった。神は異邦人をユダヤ人化しようとしているわけでない。「罪の赦し」そのものが大事であり、赦しを得た者が「復活の命」に与ることこそがイエス・キリストの願いなのである。けれどもフィリピの一部の者はユダヤ人キリスト者の、この衒学的な主張に惑わせられたのである。それだけでない、ユダヤ人キリスト者は自分の学識を誇り、パウロはユダヤの深遠な教えを何も分かっていないかのように主張したのである。過った福音理解は救いの道からそれてしまう。自慢話を何としても止めさせなければならない！　その思いに駆られ、彼は己の来歴を語る。しかしこのような来歴を語り、己の方が正しいと自慢するのが彼の目的でない。彼が言いたいのはキリストの素晴しさであり、真の救いは己の自慢話から来るのでなく、イエス・キリストの贖いからこそ来る。それ以外から来ることはないと云うことである。頭が良い、万巻の書を読破したことが救いの条件ではない。ただひたすら主イエスを見上げ、この方に己の人生を賭けてゆく素朴な信仰こそ大切である。素朴に生きることは大切であり、そして真の素朴さは難しい。けれどもこの道を目指して走りたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。